

※減免事由により申請書類が異なるので、必ず減免事由を確認してください。

併用（要綱第2条第1号（修学支援法）+第2号～第4号（生保ほか）

継続申請

授業料減免申請書類 チェックリスト

- 本チェックリストを表紙にし、申請期限までに申請書類を提出してください。
- 本事由により減免を継続申請する学生は、別途、日本学生支援機構の給付型奨学金（新制度）についても継続の手続きが必要になりますので、ご注意ください。

申請する学生

学科	<input type="checkbox"/> 看護1学科 <input type="checkbox"/> 看護2学科 <input type="checkbox"/> 助産学科
学年	<input type="checkbox"/> 1年生 <input type="checkbox"/> 2年生 <input type="checkbox"/> 3年生
氏名	
連絡先電話番号	

申請書類

<p>【全員共通】</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 授業料減免申請書（要綱様式第1号）<input type="checkbox"/> 授業料減免の対象者の認定の継続に関する申請書（修学支援A様式2）<input type="checkbox"/> 家計調書（手引様式第13号）<input type="checkbox"/> 住民票の写（世帯全員のもの。原本。マイナンバーの記載のないもの。）
<p>【減免事由別の必要書類】</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 生活保護…生活保護受給証明書<input type="checkbox"/> 里親等…里親等が発行する証明書又は児童相談所長が発行する委託通知の写<input type="checkbox"/> 就学援助…市町村教育委員会の発行する就学援助受給証明書<input type="checkbox"/> 生活保護同程度困窮…資産等を証明する書類等（※）<input type="checkbox"/> 天災…市町村長、消防署長又は警察署長が発行するり災証明書<input type="checkbox"/> 交通遺児等……生活困窮の程度を証明する書類等（※）

（※）「授業料等減免等事務処理の手引き（学生用抜粋）」を確認し、必要な書類を提出してください。

授業料減免申請書

年 月 日

静岡県立看護専門学校長 様

申請者 (学科 年 組)

氏名 ㊦

保証人住所

氏名 ㊦

次のとおり授業料の減免を受けたいので、申請します。

減免を受けようとする期間および金額	
期間	()年度 <input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 (月～ 月)
金額(※)	()円

※減免申請の理由に第2条第1号（修学支援法）を含む場合は記入不要

授業料減免の申請内容
<p>1 新規、継続の別 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続</p> <p>2 減免申請の理由(※) <input type="checkbox"/> 第2条第1号（修学支援法） <input type="checkbox"/> 第2条第2号（生活保護等） <input type="checkbox"/> (1)生活保護 <input type="checkbox"/> (2)里親等 <input type="checkbox"/> (3)就学援助 <input type="checkbox"/> (4)生活保護同程度困窮 <input type="checkbox"/> 第2条第3号（天災等） <input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊・半壊 <input type="checkbox"/> 床上浸水 <input type="checkbox"/> 第2条第4号（その他） <input type="checkbox"/> (1)所得税 <input type="checkbox"/> (2)市町村民税 <input type="checkbox"/> (3)国民年金 <input type="checkbox"/> (4)児童扶養手当 <input type="checkbox"/> (5)就学援助</p> <p>3 家計急変事由が生じたこと等による申請の別（該当の場合のみチェック） <input type="checkbox"/> 家計急変事由が生じたこと等による申請</p>

※第2条第1号と第2号～第4号は併用可

減免申請の事由（詳細に記入すること） ※減免申請の理由が第2条第1号のみの場合は記入不要

大学等における修学の支援に関する法律による 授業料減免の対象者の認定の継続に関する申請書

年 月 日

静岡県立看護専門学校長 様

私は貴校に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料減免の継続を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

- ◆ この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校において減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。
- ◆ 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、静岡県立看護専門学校が機構の保有する私の給付奨学金に関する情報の送付を受けること及び機構が静岡県立看護専門学校の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。（*を付した項目については、該当者のみ記入すること。）

申請者	フリガナ		入学年月	年 月 入学
	氏名			
	生年月日	(西暦) 年 月 日生 (歳)		
	現住所	〒 都道府県 市区町村		
	所属学部・学科等		学籍番号	
	学年	昼間・夜間・通信の別	<input type="checkbox"/> 昼(昼夜開講を含む) <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 通信	
	日本学生支援機構の給付奨学金に関する情報			
	給付奨学金の奨学生番号			

- ※ 日本学生支援機構の給付奨学金を併せて受けていただくことが基本です。「日本学生支援機構の給付奨学金に関する情報」の欄を記入できない場合は、別紙を必ず提出してください。
- ※ 申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減免の認定及び本校が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。
- ※ 給付型奨学金を受給しておらず、「機構の給付型奨学金に関する情報」の欄を記入できない場合は、(別紙1)の提出(年1回)が必要です。家計急変による事由の場合は、(別紙1)に代えて(別紙2)の提出が必要です。(給付型奨学金をあわせて受給している場合は、別紙1、2の提出は不要です。)

家 計 調 書

(申請者) 学科 年 組 ㊦

1 授業料減免等の申請理由

<input type="checkbox"/> 授業料の減免	<input type="checkbox"/> 授業料の分割納付
<input type="checkbox"/> 第2条第2号(4) (生活保護同程度困窮)	<input type="checkbox"/> 生活保護同程度困窮に近似
<input type="checkbox"/> 上記以外	<input type="checkbox"/> 上記以外

2 家族構成 (同居者全員を記載すること)

続柄	氏名	年齢	職業	備考	続柄	氏名	年齢	職業	備考
				世帯主					

(以下3～5については、減免は第2条第2号(4)、分割納付は生活保護同程度困窮に近似の場合のみ記入)

3 資産状況

区分	数量	時価見積額	備考	区分	数量	時価見積額	備考
		千円				千円	
				計			

4 生計状況

年間収入		備考	年間支出		備考
収入の種別	金額		支出の費目	金額	
	千円			千円	
計			計		

5 授業料納付についての援助者の有無

有 無 (有の場合は、下表に記入する。)

氏名	続柄	住所	年間収入額	職業	援助額(月額)
			千円		円

(注)この調書には、申請する事項の理由発生後の状況を記入する。

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

保証人住所

氏名

㊦

記入例

授業料減免申請書

令和2年4月〇日

静岡県立看護専門学校長様

申請者 (看護1 学科 1 年 1 組)
氏名 ○○ ○○ (印)
保証人住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○
氏名 ○○ ○○ (印)

次のとおり授業料の減免を受けたいので、申請します。

減免を受けようとする期間および金額	
期間	(令和2)年度 <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 (4月～9月)
金額(※)	()円 ←空欄のままにしてください。

※減免申請の理由に第2条第1号（修学支援法）を含む場合は記入不要

授業料減免の申請内容
1 新規、継続の別 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
2 減免申請の理由(※) <input checked="" type="checkbox"/> 第2条第1号(修学支援法) <input checked="" type="checkbox"/> 第2条第2号(生活保護等) <input type="checkbox"/> (1)生活保護 <input type="checkbox"/> (2)里親等 <input checked="" type="checkbox"/> (3)就学援助 <input type="checkbox"/> (4)生活保護同程度困窮 <input type="checkbox"/> 第2条第3号(天災等) <input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊・半壊 <input type="checkbox"/> 床上浸水 <input type="checkbox"/> 第2条第4号(その他) <input type="checkbox"/> (1)所得税 <input type="checkbox"/> (2)市町村民税 <input type="checkbox"/> (3)国民年金 <input type="checkbox"/> (4)児童扶養手当 <input type="checkbox"/> (5)就学援助
3 家計急変事由が生じたこと等による申請の別(該当の場合のみチェック) <input type="checkbox"/> 家計急変事由が生じたこと等による申請 ←チェックは不要です。

※第2条第1号と第2号～第4号は併用可 (該当者は学校に要事前連絡)

該当する事由に応じてチェックを入れてください。
(例は修学支援、就学援助で併用の場合)

減免申請の事由(詳細に記入すること) ※減免申請の理由が第2条第1号のみの場合は記入不要
以下の例を参考に、減免申請の事由を詳細に記入してください。 (例:生活保護の場合) 高等教育の修学支援新制度の継続支援を申し込むため。 また、○○の事情により、生活保護を受給しており、授業料の納入が困難な状況にあるため。 (例:天災の場合) 高等教育の修学支援新制度の継続支援を申し込むため。 また、○○年○月に台風により被災し、自宅が全壊し、授業料の納入が困難な状況にあるため。

記入例

(修学支援A様式2)

大学等における修学の支援に関する法律による
授業料減免の対象者の認定の継続に関する申請書

令和2年 4月 〇日

静岡県立看護専門学校長 様

私は貴校に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料減免の継続を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

- ◆ この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校において減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。
- ◆ 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、静岡県立看護専門学校が機構の保有する私の給付奨学金に関する情報の送付を受けること及び機構が静岡県立看護専門学校の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。（*を付した項目については、該当者のみ記入すること。）

申請者	フリガナ	○○ ○○		入学年月	令和2年 4月入学	
	氏名	○○ ○○				
	生年月日	(西暦) ○○○○年 ○○月 ○○日生 (○○歳)				
	現住所	〒 ○○○-○○○○ 静岡県 駿東郡清水市 市区町村 ○○○○				
	所属学部・学科等	看護1学科	学籍番号	○○○○		
	学年	1年	昼間・夜間・通信の別	<input checked="" type="checkbox"/> 昼 (昼夜開講を含む) <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 通信		
	日本学生支援機構の給付奨学金に関する情報					
給付奨学金の奨学生番号		○○○○○○○○○○○○○○○○				

- ※ 日本学生支援機構の給付奨学金を併せて受けていただくことが基本です。「日本学生支援機構の給付奨学金に関する情報」の欄を記入できない場合は、別紙を必ず提出してください。
- ※ 申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減免の認定及び本校が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。
- ※ 給付型奨学金を受給しておらず、「機構の給付型奨学金に関する情報」の欄を記入できない場合は、(別紙1)の提出(年1回)が必要です。家計急変による事由の場合は、(別紙1)に代えて(別紙2)の提出が必要です。(給付型奨学金をあわせて受給している場合は、別紙1、2の提出は不要です。)

記入例

(申請者) 看護1 学科 1 年 1 組 ○○ ○○

印

該当箇所にチェック

1 授業料減免等の申請理由

<input checked="" type="checkbox"/> 授業料の減免	<input type="checkbox"/> 授業料の分割納付
<input type="checkbox"/> 第2条第2号(4) (生活保護同程度困窮)	<input type="checkbox"/> 生活保護同程度困窮に近似
<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外	<input type="checkbox"/> 上記以外

2 家族構成 (同居者全員を記載すること)

続柄	氏名	年齢	職業	備考	続柄	氏名	年齢	職業	備考
父	○○ ○○	○○	会社員	世帯主					
母	○○ ○○	○○	会社員						
妹	○○ ○○	○○	高校生						

(以下3~5については、減免は第2条第2号(4)、分割納付は生活保護同程度困窮に近似の場合のみ記入)

減免事由が「生活保護同程度困窮」の場合のみ記入。それ以外の方は記入不要です。

3 資産状況

区分	数量	時価見積額	備考	区分	数量	時価見積額	備考
		千円				千円	
				計			

4 生計状況

年間収入		備考	年間支出		備考
収入の種別	金額		支出の費目	金額	
	千円			千円	
計			計		

5 授業料納付についての援助者の有無

有 無 (有の場合は、下表に記入する。)

氏名	続柄	住所	年間収入額	職業	援助額(月額)
			千円		円

(注)この調書には、申請する事項の理由発生後の状況を記入する。

上記のとおり相違ありません。

令和2年 4 月 ○ 日

保証人住所 ○○○○○○○○

氏名 ○○ ○○

印